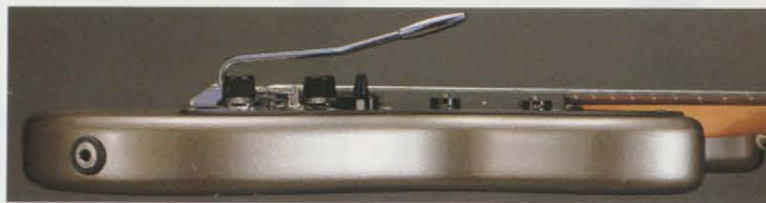


ミングしてもよかったが、私たちはOKを出さなかった。イメージでこのメカニズムを捕えてほしくなかったし、第一、このシステムの開発コンセプトは、画期的なトレモロではなく「サウンドイノベーション」である。トレモロユニットというと、ピックアップやエレクトリックサーキットとは別次元で存在しているような印象を持ちがちだが、実は絶えず密接している。ただ単に音程を変調したり、ファインチューニング機能によってイージーチューンができるだけでは、またはチューニングの狂いが少ないというだけで「このギターは素晴らしい」のひと言を発するのは少々ランポーのような気がするのだ。素晴らしいトレモロが付いているだけでギターのすべてを評価してしまうのは、どんなもんだらう。始めにもどるが「SYSTEM III」のネーミングの由来はここにある。自慢したいほど完成度の高いトレモロユニットだが、ボディやネック等の木部と深く関わり合っており、ピックアップとの親密度も特別である。そして、ギターを鳴らす人間と感性に驚くほど近づいている。機能にしばられるのでなく、ST756、ST755を操るのだという意識が生まれる。トレモロユニットを知りつくした私たちのハードウェアフィロソフィ。理想のトレモロユニットとの融合。その解答が、「SYSTEM III」だ。



ギタリストに学び、時代に学んだSYSTEM IIIのトレモロアーム。気持ちよくアーミングするために、アームの先端とエンドにアレンレンチを備えた。さりげなく、そしてムダがないグッドアイデア。アーム本来の性格にもうひとつのメカニズムを持たせたのだ。

ゆくわけだ。フロントPU側に移動するとスプリングは引っぱられ、ユニットはボディに接近する。リア側に移動すれば、その逆になる。曲想や弦のテンションに合わせて角度を深くも浅くもできる。アレンナットを回転させるアレンレンチはトレモロアームに隠されていて、アームの先端とエンドが大・小のレンチになっている仕掛。アーム自体がツールになるのだ。

#### この腕は意思を持っているアームだ。

SYSTEMの2はトレモロアームとプレイアビリティだ。当然ブリッジアセンブリーを形成している各エレメントは独自性にあふれ、例えば鋭敏な支持部、滑らかなアーミングタッチに貢献するローラーブリッジサドル、ファインチューナーノブなどは極めて高次にデザインされソリッド感をかもし出している。で、このトレモロアームだが、ユニットの先端で神経質にとがっているアームもトレモロをまったく使用しないギタリストにとっては無



弦をヘッドしてもチューニングが狂わないのだ。また、ストリングロックの6弦側には弦の太さに合わせてストリングガイドの間隔を調整するネジがある。ギタリストのゲージに合わせて、ロッキングすることができる。全ギタリスト対応型である。



#### 創造力を喚起するTBX CONTROL™

中点クリックの付いたスペシャルトーンコントロール。それがフェンダーの革新メカニズムTBXコントロール。従来のパッシブタイプ同様のファット&ウォームトーンのHi-Cutトーンコントロールに加え、高域のレゾナントピーク(共振周波数)を上げフェンダー特有の突き抜けるようなリングトーンを獲得する。とりわけ、ディストーションをベースにしたサウンド時のハイアタッキーなハーモニクスサウンドにひとときわゴージャスな質感を披露します。

#### デザイン的にも性格的にもライブ派 PERFORMER PF-555、FB-555

驚愕のフォルムとずっしりくる圧倒的にリアルなサウンド。ライブパフォーマンスの衝撃波が生成したまったく新しいフェンダーPERFORMER誕生。柔にして、剛。静にして動。この資質がニューライブエイジの個性となるのは明確だ。●FORM: PF-555はストラトキャスターを、FB-555はジャズベースをマザーにしているが、24フレット仕様特有の不安定なボディバランスをクリアするため、コンタドボディのカットングをリデザイン。ARROWスタイルのヘッドデザインと呼吸を合わせた先鋭的なフォルムへと昇華し、24フレットヴァージョンベースのプレイアビリティ

755、PF-555、FB-555に採用された。バーガンディミストカラーは60年代中期のフェンダーにカラーリングされていたメタリック系の落ちついた色彩を放つワインレッドカラーである。●BOXERシリーズの品番はピックアップの性格を表示している。3ケタの品番の末尾数字は搭載ピックアップの数とその組合せを意味しているのだが、例えばST-756の6はシングル/シングル/ハムバッカーの意味。ST-755の5はハムバッカー×2機という意味だ。また1はハムバッカー×1、7はシングルピックアップ×3搭載という表示である。

を抑えたウェルバランスの高出力と駿敏なレスポンスを獲得。チョーキング時も弦がマグネットから外れることはない。●PF-02ピックアップはPF-555にマウントされているバーマグネット採用のダブルコイルPU。コイルスプリッターSWによるハムバックング時の量感のある強烈な中低音、シングルセッティング時の粒のそろった中高音がギタリストの指先を加速させる。●FB-01ピックアップはFB-555用に開発されたシングルコイルPU。中・低音のバランスを重視し、出力インピーダンスをLOWインピーダンスに近い設定にしている。従ってパワーよりもひとつひとつの音をダイレクトにレスポンスし、リッチに鳴らす技巧派的特性を身上とする。●24 FRETS: PF-555、FB-555のボディフォルムと見事に調和する先鋭化したネックには、超ワイドなサウンドレンジを可能にする24本のフレットが打ち込まれている。ギタリスト、ベーシストの潜在力を余すところなく発揮。感性と同じリズムでドラIVINGができるスペシャルフューチャーだ。●幻のカラーリング「バーガンディミスト」がST-756、



Fender®